

御前崎渚の交番 ゴールデンウィークイベント

令和3年5月10日

- 日 付：令和3年5月1日（土）～令和3年5月5日（水）
- 時 間：10：00～15：00
- 場 所：御前崎渚の交番
- 参加者：「磯の生きもの観察」15名、海上合同パトロール10名前後

今年のゴールデンウィークは新型コロナウイルスの影響により、例年通りに人を集めることが難しいため、屋外にて少人数制での開催となった「磯の生きもの観察会」や人を集めない「ドローンライブ配信イベント」、また御前崎海上保安署と御前崎渚の交番（協力：静岡県水上オートバイレスキュー連合体(USPR)）の合同海上パトロールも実施し、海上の安全啓蒙活動にも取り組んだ。

5月1日(土)開催の「磯の生きもの観察会」はアースコミュニケーションの川口さんに講師をしていただき、渚の交番は安全管理スタッフとして参加した。当日は雷雨の予報だったため、スケジュールを変更して前半に磯場の生きものについて説明を行った後、実際に磯場に行き、生きもの観察を行った。磯場に到着する頃には雨も上がっており、子どもたちはそれぞれに磯場での生きものの採取を楽しんでいた。最後には集めた生きものを川口さんが一種ずつ解説。子どもたちだけでなく保護者の方々も熱心に聞いている姿が印象的だった。

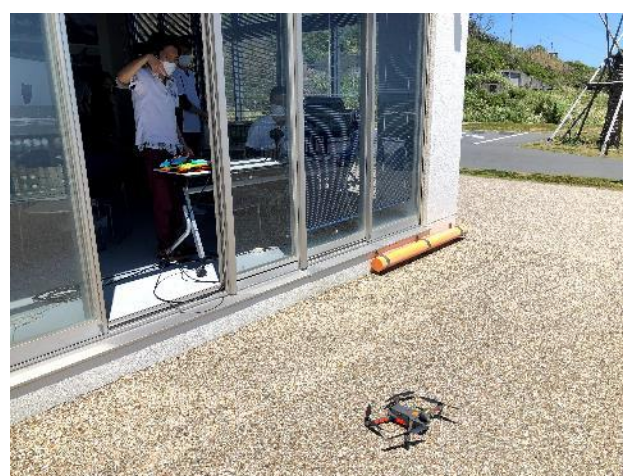


5月4日(火)は御前崎海上保安署と御前崎渚の交番との合同海上パトロールを実施（協力：静岡県水上オートバイレスキュー連合体(USPR)）。当日は海難事故が発生したと想定した訓練も同時に実施。まず御前崎海上保安署より渚の交番へ入電、その後、レスキュースタッフが水上オートバイを用意し、要救助者が漂流している現場海域まで水上オートバイにて急行、要救助者を海上保安署小型巡視艇「れいら」に引き渡すという訓練を行った。

その後、御前崎・掛川・牧之原の水上オートバイ（計 5 艇）と海上保安署と合同で御前崎港から御前崎ロングビーチまでをパトロール。水上オートバイ利用者や釣り人、ウィンドサーフィンなどマリンアクティビティを楽しまれる方に声掛けをさせていただきながらビーチと海上をパトロールした。



5月1日(土)、5月3日(月)、5月5日(水)は御前崎渚の交番、初の試みとして「ドローンライブ配信イベント」を実施。1日はドローンを使用し、磯の生物観察会の様子を生中継。3日は色のついたビブスを着用している人をライブ配信中找到してもらう「スマイル君を探せ」を実施した。スマイル君は磯場や岬の広場などに配置、視聴者の方にゲーム感覚で楽しみながら渚の交番周辺の景色を空から楽しんでいただいた。また5日は磯場や灯台、ロングビーチなど御前崎海岸の観光案内をナレーション付きで実施。残念ながら雨のため午後の部は中止となり、午前の1回だけのフライトとなってしまった。3日間の総視聴者数は延べ約20名、事前告知などのPR方法が課題となった。





また渚の交番前磯場へ続く入り口に潮見表の設置と海へ降りる階段が大変滑りやすくなっているとのことから注意喚起の看板を設置した。



今年は新型コロナウイルスの影響を考慮しあまり人を集めない形での実施となったが、ライブ配信など新たな試みを実施できたことは大きな成果だと感じている。これからも渚の交番では御前崎海岸の活性化に努めていく。